

閑谷学校関係資料



指定区分	国指定重要文化財(歴史資料)
読みかた	しずたにがっこうかんけいしりょう
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	平成14年6月26日
解説	閑谷学校は、寛文10年(1670)に岡山藩が設立した江戸時代の代表的な郷学である。これらの資料は、同校地内に延宝5年(1677)に建設された文庫内に収蔵されているもので、典籍類を中心とする資料である。教授の資料や生徒の学習用に用いられた漢籍・国書に一部絵画・器物等が4,041点ある。江戸時代の学校関係の資料として貴重である。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(歴史資料)
ぶんかざいめい (文化財名)	閑谷学校関係資料
よみかた	しずたにがっこうかんけいしりょう
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していつひ (指定した日)	平成14年6月26日
せつめい	閑谷学校は江戸時代(えどじだい)のはじめごろに、日本ではじめての庶民(しょみん)のための学校としてつくられました。そのときの教科書(きょうかしょ)や、先生が生徒(せいと)に教(おし)えるために使っていた本などが4000点以上も残(のこ)されています。